

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2001-174048(P2001-174048A)

【公開日】平成13年6月29日(2001.6.29)

【出願番号】特願平11-360757

【国際特許分類】

**F 2 4 F 1/00 (2006.01)**

【F I】

F 2 4 F	1/00	3 9 1 A
F 2 4 F	1/00	4 0 1 B
F 2 4 F	1/00	4 0 1 D
F 2 4 F	1/00	4 5 1
F 2 4 F	1/00	3 9 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月6日(2006.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】筐体の前面および上面に備える吸込口と前面下部に備える吹出口とを結ぶ空気通路に、逆V字形に配置された室内熱交換器と、送風機とを配設して成る空気調和機において、前記筐体の前面吸込口に備える吸込グリルを開閉自在とし、同吸込グリルに伝熱体を取り付け、前記室内熱交換器に前記伝熱体を接離自在としたことを特徴とする空気調和機。

【請求項2】前記伝熱体が、前記室内熱交換器の放熱フィンと同じ方向に長く同放熱フィンと接触する伝熱部と、同伝熱部を連結すると共に、前記吸込グリルの通気口に対応する開口と、吸込グリルに取付けるための取付孔を有する取付部とで成ることを特徴とする請求項1記載の空気調和機。

【請求項3】前記伝熱部が、前記室内熱交換器の放熱フィンと同じ厚みのフィンを同じ間隔に配置され、同フィンにパイプを挿通することにより連結して成る一方、前記取付部が、同フィンの両端に備え、前記吸込グリルに取付けるための取付孔を有するL字状の側板で成ることを特徴とする請求項2記載の空気調和機。

【請求項4】前記伝熱体を取付けた吸込グリルを開閉駆動する駆動部を設け、同駆動部を前記吸込グリルが冷房時に解放され、除湿時に閉塞されるように制御してなることを特徴とする請求項3記載の空気調和機。